

2050

美濃加茂市

新庁舎整備基本構想策定委員会

がわらばん vol.3

新庁舎基本構想ができるまで(予定)

	2017年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年	1月	2月	3月
委員会	第1回	第2回	第3回					第4回		第5回		第6回				市長へ 答申
市民ワークショップアンケート等			今回の委員会			全4回			+ おでかけワークショップ							
市民からの 諮問事項	①新庁舎の課題整理 ②新庁舎に求められる基本機能 ③新庁舎整備の事業手法及び候補地等の比較分析 ④新庁舎をいかしたまちづくり構想															パブリック コメント ↓ 基本構想発表

基本構想は、委員会だけではなくワークショップやアンケート等市民のみなさんの意見も取り入れて美濃加茂らしいものとしていきます。

4月27日に行われた第3回委員会では、「新庁舎に求められる基本機能」と「新庁舎をいかしたまちづくり構想」について話し合いました。

新庁舎に求められる基本的な機能や役割について話し合いました

前回のミニワークショップで出た意見を基に、新庁舎に求められる3つの機能(右図)を整理し、各機能についてより深く考えました。特に、市民が主体となって使う「拡張機能」については、必要性和運営主体の2つの観点から、新庁舎に必ず取り入れたい機能と、そうでないものをワークショップ形式でふるい分けしました。

庁舎の3つの機能	①市民サービス機能 市民相談、市民窓口	③拡張機能 市民とつながるまちにつながる
	②執務機能 市政運営 防災拠点	

「銀行」(その他の施設を利用するとしても、「ATM」はぜひ取り入れるべきでしょう。

「子ども遊び場」や、「保育スペース」は民間と市で運営するものとしてぜひ取り入れるべきです。「突発的な意見が出ることができる環境」もあると嬉しいですね。

「市内の農業紹介スペース」は民間で運営できるのであれば新庁舎に取り入れるといいですね。

「市民協働の拠点」は民間と市で一緒に運営し、ぜひ取り入れるべきでしょう。

「フリーWi-Fi」は、これからの社会の庁舎には必ず取り入れるべきだと思います。

「自由に使える大規模な複合施設」(複合の場所を使用としても、「BM」が流れるような休憩コーナー)はぜひ取り入れるべきでしょう。

新庁舎をいかしたまちづくり構想を未来予想図(案)として作成しました

今回の委員会では、前回委員より届けられたタネ(=市民のみんなが30年後も幸せを感じる庁舎のキーワード)からイメージされる「庁舎をいかしたまちの未来予想図(案)」をつくりました。今後、委員よりいただいた感想や市民の意見を聞きながら、みんなで共有できる未来予想図として完成させていきます。

- 災害にとっても強い
- みんなにやさしい
- 市民が一日過ごせる・ほっとできる
- 自由に使うスペース・ビジネス交流
- 情報発信基地
- 将来変化する機能性
- 楽しい広場・まちの中に人の流れができる

最新情報はこちら

<https://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>

第4回は8月18日(金)19時から生涯学習センターにて。新庁舎整備の事業手法や候補地などについて話し合います。

発行日：2017年5月17日

発行者：美濃加茂市新庁舎整備基本構想策定委員会、美濃加茂市経営企画部施設経営課

お問合せ：shisetsu@city.minokamo.lg.jp

